



みぬく力、ここに。

86期岡山労働学校

超入門！ 資本論教室

10月10日(木) start

主催：岡山県労働者学習協会

資本論ってどんな本？

ろうどう がっこう 労働学校？



岡山県労働者学習協会が開いている学校です。いろんな職業の人たちが、毎週集い、学んだり（かなりまじめ）、交流します（とことん！）。年に2回、開校されています。

資本論は、19世紀、ドイツ出身の革命家、カール・マルクスが、猛烈な経済学の研究を積み重ね、たたかう労働者にささげた本です。資本主義社会のしくみや運動法則、その矛盾や解決の方法などを徹底的に明らかにした内容になっており、その原則は、いまもって、私たちの生きている社会を科学的にとらえる力をもっています。

今期の岡山労働学校では、資本論を劇画風にしたマンガをテキストに、この資本論の内容にせまっていきたいと思います。ぜひご参加を！

【第86期岡山労働学校 『超入門！ 資本論教室』 カリキュラム】

- ① 10月10日（木）入学式・ミニ第1講義「なんで『資本論』？」
- ② 10月17日（木）第2講義「マルクス・エンゲルスの青年時代」
- ③ 10月24日（木）第3講義「『資本論』への道ーマルクスの学問スタイル」
- ④ 10月26日（土）特別講座「『資本論』を学ぶ現代的意義」（岡山県学習協50周年企画）
- ⑤ 10月31日（木）第4講義「商品とは何か」
- ⑥ 11月 7日（木）第5講義「労働力という商品」
- ⑦ 11月 9日（土）ふれあいコンパ
- ⑧ 11月14日（木）第6講義「搾取のひみつ」
- ⑨ 11月21日（木）第7講義「労働時間の延長」
- ⑩ 11月28日（木）第8講義「搾取強化の方法」
- ⑪ 12月 1日（日）1日レクリエーション
- ⑫ 12月 5日（木）第9講義「資本の本源的蓄積」
- ⑬ 12月12日（木）第10講義「労働者の団結の意味」
- ⑭ 12月20日（金）修了式&修了コンパ



テキストには『理論劇画マルクス資本論』（原作：門井文雄、構成・解説：紙屋高雪、協力：石川康宏、かもがわ出版）を使います。

講師／長久啓太（岡山県学習協事務局長）、10月26日は関野秀明さん（下関市立大学准教授）

募集要項

期間：2013.10.10（木）～12.20（金） 時間：18:30～21:00（21:00～有志の交流会）

会場：岡山市勤労者福祉センター（岡山市北区春日町5-6）

受講料：テキスト込 10,000円（県学習協会員 8,000円、学生 4,000円）

単発参加は1回 1,500円（学生600円） 入学式のみ 1,000円（学生400円）

修了資格：全13回のうち、8回以上の出席の方に修了証書をお渡しします。

《お申込み・お問い合わせ先》

岡山県労働者学習協会 ☎700-0905 岡山市北区春日町4-26

TEL&FAX 086-232-3738 E-mail gaku3738@iris.ocn.ne.jp



八六期 申込書	名前		住所	〒	
	TEL		mail		
	勤務先		備考	年令	才